

難病になっても、みんなで安心して就労できる茨城をつくりましょう

茨城県難病相談支援センター

難病就労支援セミナー2016

～治療と仕事の両立をめざして～

第1回 10月22日(土) 第2回 10月29日(土) 第3回 11月27日(日)
会場 茨城県立健康プラザ 3階 大会議場

～難病の人・家族、就労支援機関、企業、保健・医療・福祉が一堂に会して～

平成27年1月、難病法がスタートして早くも2年が経過しました。

この法律において、難病の克服はもとより、難病のある人の社会参加の機会の確保と、地域社会で尊厳を持って生きることができる共生社会の実現及び福祉サービスや就労支援の充実を目指すことが基本理念として掲げられています。

茨城県難病相談支援センターとしても、昨年度から土浦ハローワークの難病患者就職サポーターと協働し、「難病就労相談」を県立医療大学附属病院内相談室で開始しました。

そして今年度、「難病のある人と支援者の協働による茨城県の就労支援体制を創る」ことを目標に、難病就労支援セミナーを開催いたしました。3回のセミナーを通して、難病の人・家族を中心に、保健師、看護師、医療事務職員、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、行政職員、民生委員等、たくさんの方々が一堂に会して情報を共有し議論することで、難病についての総合的な学習と協働する関係づくりの機会を得ることができました。

ご参加いただいた方々

ケアマネージャー

難病のある人・家族

茨城労働局

ハローワーク土浦

民生委員児童委員

茨城県保健福祉部
保健予防課

保健所

水戸
日立
龍ヶ崎
土浦
つくば
筑西

市役所

土浦
北茨城
鹿島市



医療機関

大久保病院
ひたちなか病院
ユークリニック
茨城県立医療大学
附属病院

患者会

茨城県難病団体連絡協議会
後縦・黄色靭帯骨化症患者会
全国膠原病友の会茨城支部
全国MS友の会茨城支部
いばらきUCD CLUB

企業

self-Aアドバンフォース勝田
多機能型事業所 まゆみの里
水戸就労ケアマネジメント
ケアパートナーつくば

障害者就業・

生活支援センター
なかま まつぼっくり
つくばLSC まゆみ
慈光倶楽部

協力: 茨城県医師会、水戸市医師会、土浦市医師会、つくば市医師会、茨城県ソーシャルワーカー協会、茨城県ケアマネージャー協会、各ハローワーク、各市町村、各保健所

第1回難病就労支援セミナー

平成28年10月22日(土)

講演

「難病のある人の就労と職場定着支援について」
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター

主任研究員 春名 由一郎 氏

本人の「強み・興味」を発見し、職場での「お互い様」という合理的配慮を得ることで職場定着につながる。

～就労セミナーへのご意見～

- ・国の方針が明確に分かった。新しい制度への移行期には、このような講演を県レベルで企画するのがよい。
- ・企業の方にも聞いていただきたい内容だった。
- ・グループワークでは様々な立場の方の意見が聞けて今後の活動に役立った。
- ・就労の実態について、難病のある人の生の声をもっと聞かせてほしい。
- ・難病についての理解がまだまだ進んでいないため、このような講演会を通してたくさんの方に知ってほしい。

グループワークの様子

「治療と就労を両立するために必要なこと」というテーマで話し合いを行いました。



第2回難病就労支援セミナー 平成28年10月29日(土)

講演 「治療と職業生活の両立支援」

独立行政法人労働者健康安全機構
茨城産業保健総合支援センター

河島 美枝子 氏



ひたちなかエリアの活動紹介

就労継続支援A型事業所

Self-A アドバンフォース勝田 沼田 晃信 氏

難病であることを隠さず
自ら動くことが大切

グループ発表 ～治療と就労を両立するために必要なこと～

- ・難病であっても、就労においては一社会人としての自覚と責任が求められる。自分がやりたいこと、できることを分析し、企業にプレゼンして売り込むことが必要である。
- ・自分の病気を受け入れ、健康管理をきちんと行い、病気のことを周囲に理解してもらう努力をする必要がある。
- ・自分自身を分析し、他者にうまく伝えることが難しい場合は、就労支援機関等を利用して企業につなげる手助けを求めることもできる。
- ・企業側は、社会的に難病のある人を受け入れる風土をつくる必要がある。
- ・若いころに発症して就労経験のない方は、社会経験がないため、いきなり就労活動を行うのは難しい。家族やピアなどのサポートを受けつつ、職業訓練など就労へのステップを踏んでいくほうが良い結果につながる。
- ・障害者対象の就労継続支援A型・B型事業所や就労移行支援事業所などの福祉サービスは指定難病の手帳があれば利用することができるので、有効に活用して就労につなげていくとよい。

第3回難病就労支援セミナー 平成28年11月27日(日)

講演内容

◇「難病のある人の就職支援について」

茨城労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官 永井 道容 氏

◇「脊髄小脳変性症について」

茨城県難病相談支援センター 管理責任者
茨城県立医療大学医科学センター 教授

河野 豊

◇「脊髄小脳変性症の当事者と家族への生活支援」

茨城県つくば保健所健康指導課 保健師
つくばLSC障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者
ケアパートナーつくば 居宅介護支援課 ケアマネージャー
つくば市民生委員児童委員

監物 輝子 氏
津梅 光子 氏
鈴木 弓子 氏
松本 京 氏

難病のある人が自分らしく生き、就労や社会生活を継続していくために、関係機関が連携して支援することの大切さを学ぶことができました。

チーム支援

いろいろな機関が協力し、一緒に考えアイデアを出し合うことで、より良い結果を目指しましょう。

茨城県難病相談支援センター
難病就労支援セミナー
治療と仕事の

